

授業科目 医療福祉チームワーク論

【担当教員名】 遠藤和男	対象学年	1	対象学科	全科共通
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【概要及び学習目標】

医療及び福祉に係る各種職員の役割分担とチームワークのあり方について、ケース・スタディを通して修得する。

1. 医療及び福祉に携わる専門職員を列記できる。
2. 本人が資格取得する職種の専門性について、他の職種と区別できる。
3. 医療及び福祉の現場におけるチームワークの重要性を説明できる。
4. 将来チームワークに積極的に参加する自覚を養う。

回数	学習の主題	学習内容	学習方法
1	医療及び福祉関連職種	医療及び福祉の現場で活躍する各種職員の役割について学ぶ。	講義
2	資格法及びグループ討議	前半で各種資格法の概略について学び、後半でグループ討議（GW）の重要性について理解する。	講義とGW
3	資格職種についてのグループ討議	本人が資格取得する職種と他職種との関わり方、将来の仕事の内容や希望などについてグループ討議を行う。	GW
4	ケース・スタディ①	提示されたケースについて、本人が専門職種または医療従事者の一人として、どのように関わるつもりかをグループ討議する。 （5職種すべてに適したケースを提示しきれないので、他の専門職種になった場合も想定してみる。）	GW
5	目標と達成度評価についてのグループ討議	「健康日本21」に各種の健康目標が提示されたので、目標と達成度評価についてグループワークを行う。 （チーム・ワークにおいても目標と評価が重要なことを学ぶ。）	GW
6	ケース・スタディ②	提示されたケースへの関わり方についてグループ討議を行う。	GW
（7	ケース・スタディ③	同上 （コマが取れた場合に行う。）	GW)

【評価方法】

グループ討議に熱心に参加しているかどうかを、毎回観察評価するほか、第6または7回目にレポートを課し、提出されたレポートの内容と合わせて評価する。

【履修上の留意点】

- ・「基礎ゼミ1」で各職種の業務内容を、おおむね理解したという前提で講義を行う。
- ・5職種の資格法について概説する際の教科書は、2年次の「医療と福祉の法」でも使用する。

【使用図書】

教科書・参考書別	書名	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書	衛生法規の要点－保健・医療に従事する人のために	山本宜正 大谷 篤	日本公衆衛生協会	1998・¥2700＋税・毎年改訂されている？
参考書	ケースメソッドによる公衆衛生教育－Simulation Exercise (SE)－	矢野栄二、他編	南江堂	2000・¥2500＋税